



13 本陣・脇本陣跡碑

寛永12年(1635)に参勤交代制および2年後に本陣制が定められ、大名などと庶民の宿泊施設が区別されるようになった。本陣は、参勤交代の大名や格式の高い人などの宿。脇本陣は、本陣の予備的役割を果たす宿のことである。板橋宿は中山道の第一宿であった。平尾宿・中宿・上宿からなり、本陣2軒、脇本陣3軒、旅籠屋54軒があったという。

14 板橋

石神井川にかかる橋。板橋の名称は平安時代末期には既に使われていた。粗末な丸木橋が普通だった当時、珍しい板の橋だったことが地名の由来。江戸時代は太鼓橋で、長谷川雪且「江戸名所図会」にも描かれた。この橋より北の上宿、南の中宿、平尾宿の3宿を総称して板橋宿と呼ばれた。橋のたもとには高札場があった。現在は木製を模したコンクリート製となっている。



王子三小

姥ヶ橋陸橋

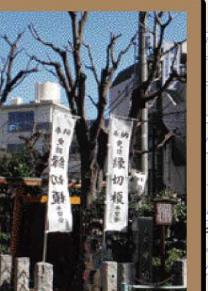
加賀中

帝京大学医学部

帝京大学

15 緑切榎

江戸時代、ここに大きな榎が生い繁っていた。やがて、榎の下を嫁入りの行列が通ると不縁になると敬遠され、「縁切榎」と呼ばれて、街道の名所となつたといふ。「榎(えのき)は緑の木なれば、あながちに縁を断つことのみならず、善縁をむすび悪縁を断つこそ神の御心……」と「縁切榎の碑」に刻まれている。



第二宝湯

16 志村一里塚

街道には日本橋から始まり、一里(約4km)ごとに一里塚が立てられた。志村一里塚は日本橋から三里目に設けられた一里塚のことであり、江戸初期、主要街道の整備に伴い築造された。石垣で補強されたのは昭和初期のこと。地下鉄三田線志村坂上駅の本蓮沼側の階段を上がったところにある。



18 薬師の泉庭園

中山道では富士山は左側に見える。右側に富士山が見えるのはここだけだった。今は庚申塔と道標がある。庚申塔は道標も兼ねており「是より富士大山道」とあり、その下に「練馬江一里、柳沢江四里、府中江七里」とある。万延元年(1860)に建てられたものである。



17 富士・大山道の道標と庚申塔

中山道では富士山は左側に見える。右側に富士山が見えるのはここだけだった。今は庚申塔と道標がある。庚申塔は道標も兼ねており「是より富士大山道」とあり、その下に「練馬江一里、柳沢江四里、府中江七里」とある。万延元年(1860)に建てられたものである。



志村三丁目

都営三田線

袋小

桐ヶ丘高

都営桐ヶ丘団地

桐ヶ丘中央公園

桐ヶ丘小

桐ヶ丘郷小

赤羽自然観察公園

大松寺

北中

都営浮間一丁目

川嶋湯

アパート

天風呂ゆの花

新河岸大橋

環八通り

小豆沢神社

小豆沢交番

小豆沢体育館

武道場

プール館

小豆沢公園

小豆沢スポーツガーデン

志村四小

地域センター志村

コミュニティホール

志村図書館

志村坂上

小豆沢病院

南蔵院と氷川神社

志村署

志村二小

志村一小

志村一小

志村一中

志村一中